

臨床研究「出血に対する胆嚢動脈塞栓術の有効性、 安全性の検討」についてのお知らせ

2010年1月から2023年6月の期間に兵庫県立尼崎総合医療センター放射線診断科において、出血に対する治療として胆嚢動脈の経皮的動脈塞栓術を受けられた患者さんへ

1 研究の対象

2010年1月から2023年6月の期間に兵庫県立尼崎総合医療センター放射線診断科において、出血に対して胆嚢動脈塞栓術を受けられた患者さんを対象とします。

2 研究の目的、方法、研究に用いる情報の種類

外科手術、内視鏡治療、胆嚢炎などを原因として胆嚢動脈から出血することがあります。そのような場合にカテーテルを用いた胆嚢動脈塞栓術が有効であることが知られています。しかし、これまでの研究は1人の患者さんでのカテーテル治療について報告するものが多く、多数の患者さんでカテーテル治療の効果を調べた研究はありません。出血に対する胆嚢動脈塞栓術の有効性、安全性を調べるのが本研究の目的です。胆嚢動脈塞栓術が施行された患者さんの、カルテ情報、動脈塞栓術の手技の報告書、関連するCT画像、X線透視画像を、個人が特定できない形で使用します。出血に対する胆嚢動脈塞栓術の方法、技術的成功率(X線透視画面上で出血が止まったかどうか)、臨床的成功率(臨床的に止血が得られたか)、手技の合併症を評価します。研究結果を発表する際には、個人情報には匿名化されますので、個人が特定されることはありません。

研究期間：研究期間の長の許可日から3年間

3 外部への資料、情報の提供

本研究は複数の施設で得られた患者さんの情報を解析して発表する多施設共同研究です。当院で得られた患者さんの情報を、個人を特定できない状態にして代表機関の研究者に送り、他機関の患者さんの情報とあわせて解析を行います。

4 代表研究機関・共同研究機関の研究責任者

代表機関

天理よろづ相談所病院 放射線部 谷口尚範

共同研究機関

大津赤十字病院 放射線科 川原清哉
倉敷中央病院 放射線診断科 小山貴
神戸市立医療センター中央市民病院 放射線診断科 安藤久美子
国立がん研究センター中央病院 放射線診断科 楠本昌彦
兵庫県立尼崎総合医療センター 放射線診断科 金柿光憲

- 5 患者さんの情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること
下記の6の連絡先にご連絡をしていただければ、患者さんの情報使用を停止いたします。

- 6 本研究に対する問い合わせ先へ
兵庫県立尼崎総合医療センター 放射線診断科
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町2-17-77
TEL: 06-6480-7000 FAX: 06-6480-7001
研究責任者 金柿 光憲